

2025年3月26日(水)

10:00~12:00

年度末、押しせまった中、トミタショールーム見学会を開催しました。

当日は、トミタの富田社長がお忙しい中、外出前の時間を割いてお話いただき、その後、副社長からご説明いただくというありがたい時間となりました。

まず、冒頭社長より、1923年初代富田彦四郎氏が京都から上京し、京橋にて掛け軸などの表装裂地である金欄緞子、襖紙の問屋を創業し、2023年に創業100年を迎えられた事、その後三代目富田正一氏が1960年にスコアバレーオリンピックにアイスホッケー選手として出場、海外遠征で海外のインテリアのすばらしさを日本に伝えたいとの思いを抱かれ、現在の(株)トミタへと繋がっていった旨のお話から始まりました。

そして見学会のメインコレクションであるKOZOコレクションについてです。KOZOコレクションは今回6作目となります。これまでも洒落た和モダンな和室にはKOZOを使いたいなど常日頃、思っていたコレクションでしたが、KOZOVIは次の百年に向け素材そのものの可能性を追求し今一度原点に立ち戻り、和紙の持つ潜在能力やこれまで敬遠しがちであった技法を見直し、和紙の新しい魅力を発見、発信するために開発がスタートしました。また持続可能な循環型社会の必要性から毎年葉を落とす冬先に刈ることができる楮をつかうことは重要なテーマでもありました。またKOZOの壁紙を手掛けた和紙職人と四季をイメージした(日本海ブルーをはじめとして)新しい作品作りに取り組んだお話は聞きごたえがありました。

その後、副社長より先代が開拓していった海外のファブリックブランドのお話となりました。C&C、LELIEVRE、LIZZO,PEPE PENALVER、METAPHORES、ZOFFANY、など吊りサンプルを見て、触って、ムードボードを見せていただきながら、堪能しました。

さらにPROMEMORIAの家具、ラグ(ソルスティスコレクション)もたくさん見ることができ、座ることができました。

盛り沢山な内容で時間も長めに設定していましたが、まだまだ見足りない、お話を伺いたいそんな見学会となりました。

見学会の後は、頤和園京橋江戸格蘭店で個室中華ランチを楽しみました。(泡とともに・・・)参加いただいた皆様ありがとうございました。富田社長、富田副社長にも感謝の気持ちでいっぱいです。

(M・H記)

